vol.9
December.23.2022

未来からの留学生 きらり

認定こども園あかみ幼稚園　園　長　中田幸子
認定こども園メイプルキッズ　施設長　長島弥生

早いもので、今年も残すところあとわずかになりました。
この時期強い風が吹き、乾燥する日々が続きます。特に、外から戻ったときには、うがい手洗いをするとともに、室内や体の乾燥を防ぐ対策をとるようにしましょう。

学期ごとの実践検討会（振り返り）を行っています

前回の「未来からの留学生☆きらり」で、行事等を行った後、保護者の皆様の感想や意見をもとに、「振り返り」をし、次年度へつなげていくとお伝えしました。

保育においては、メイプルキッズ、あかみ幼稚園それぞれが、職員みんなで、学期ごとに「振り返り」を行っています。そこでは、保育者一人ひとりが、実際の子どもの様子で感じたこと、育ったこと、その時どうかかわったかなどを文章にまとめます。

そして、一人ひとりがまとめたことをもとに、国から示されている指針「教育・保育要領」や、園の「教育・保育課程」（育ちの地図のようなもの）と照らし合わせながら、今学期どのような育ちがあったかを話し合い、次の学期の保育をどう行っていくかを考えていきます。

このように、その時期の子どもの育ち、大事にしたい姿、保育者の関わりで大切にしていることなど、それぞれの保育者が、意見を出し合い、お互いを認め合ったり、共感し合ったりしながら、共有していくことが、今後の保育をより豊かにしていくと考えています。

このような、保育者同士で、保育を高めていく時間を大切にしながら、今後もよりよい保育を目指していきたいと思っています。

自分たちが遊んだことをみんなの前で発表する

もり組の子どもたちは、クラスの集まりで、今日、自分たちが何をして遊んだかを発表します。それは、どのように行うのかというと・・・
一緒に遊んでいた子どもたち同士が前に出て、「今日は、チョコレート味のケーキを作りました」「お客さんがたくさん来て良かったです」「明日は、違う味のケーキを増やそうと思います」等と、実際の自分たち行動や感想、明日への展望などを言葉にしていきます。そうすることで、自分たち（または自分）の活動を確認し、相手に伝え（言葉で表現する）、自分たちは明日どうしたいかという見通しを持つことができます。また、他の遊びをしていたクラスの仲間同士お互いが関心を深め、理解するようにもなっていきます。

もり組だけでなく、４歳児や３歳児もクラスで「木の実を（園庭で）拾いました」や作品を見せながら「これ作った」（かっこいいね、これは何だっけ？という保育者の問いに）「電車」、など保育者の手助けを受けながら、発達に応じて自分の見せたい気持ちを言葉で表現します。ここで大切なのは、見せたい気持ちです。
その気持ちを受け止め、そして発表したことを認めることが、一人一人の自信につながっていきます。

このような経験は、自分の意見を相手に伝える力や、相手を認め共に考えること、そして自分の行動を振り返る力の基礎になっていきます。実際、小学校の授業では、本日のめあてに対して、自分がどうだったかという評価（振り返り）を行っているそうです。振り返りを充実させることは、次の授業に向かう姿勢がより主体的になることでしょう。

私たち大人もそうですね。仕事や家庭においてきちんと振り返ることが、次への好循環につながります。
一年の締めくくりのこの時期、私も“ゆく年”を振り返り、課題を確認し、希望をもって“くる年”に向かいたいと思います。

次号１月の「未来からの留学生☆きらり」では、学童期の姿として、園敷地内の「放課後学童クラブみちくさの施設長　佐藤智恵より、学童期で大事にしていることなどを、みちくさの子どもたちの様子からお伝えします。お楽しみに。

令和４年、今年もお世話になりました。よいお年をお迎えください。